

成績評価について

I 学修の評価、試験等

学修の評価（成績評価）は、シラバス（「授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画」に掲載されているシラバス（授業概要））に記載されている評価方法（筆記試験、口述試験、レポート、発表、実技試験、提出課題、論文等）に基づいて科目担当教員が総合的に行います。

(1) 評価の基準

評価の基準および単位修得の判定の関係は、次のとおりです。

成績評価	評点	判定
S	100～90点	合格（単位認定）
A	89～80点	
B	79～70点	
C	69点～60点	
D	59点～0点	不合格（単位不認定）
E	未受験	未履修

単位認定科目制度の利用等による評価によらない認定科目の成績はN(認定)とする。

<卒業論文>

卒業論文は、「合格」「不合格」で判定する。

目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合格」とする。

(2) 試験について

試験は、筆記、口述、レポート、論文、実技等の方法により行われます。試験の種類は、期末試験、追試験があり、追試験はやむをえない理由で定期試験を欠席した者に対して行われる試験となります。試験等により評価された成績については、前期分と後期分の年2回、成績表により、各学生宛、各保護者宛に通知します。